

平成17年 9 月 29 日
原子力安全対策課
(1 7 - 6 6)
<21時30分記者発表>

美浜発電所 1 号機の定期検査状況について (A - 1 次冷却材ポンプ軸シール水漏えいに伴う原子炉手動停止)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所 1 号機(加圧水型軽水炉；定格電気出力34.0万kW)は、9 月 17 日、発生した B - 湿分分離加熱器加熱蒸気ドレン管温度計管台溶接部からの漏えいの補修、および本日早朝に発生した加圧器安全弁 B からのシート漏れの点検のため、本日 17 時 15 分から、電気出力約 50 % から出力降下を開始した。

[平成17年 9 月 28 ・ 29 日記者発表済み]

出力降下中の本日 19 時 08 分、A - 1 次冷却材ポンプのメカニカルシール(封水)部で「スタンドパイプ*¹水位注意(水位低)」の警報が発信した。このため、スタンドパイプへの水補給を行ったが、19 時 43 分、再度同警報が発信するとともに、格納容器内のテレビモニタにより同ポンプ軸シール部*²からの漏えい水飛散防止のため取り付けられている覆い板(スプラッシュガード)からシール水の漏えいを確認したため、19 時 57 分、電気出力約 20 % にて原子炉を手動停止した。

今回の事象は、A - 1 次冷却材ポンプの軸シール部の不調が原因と考えられるが、詳細な原因について、今後調査を行う。

なお、本事象による環境への放射能の影響はない。

* 1 : スタンドパイプ :

1 次冷却材ポンプの軸シール部の一部で、軸シールの最終段(N o 3 シール)と配管でつながれており、その水量を監視することでシール部の機能を確認している。

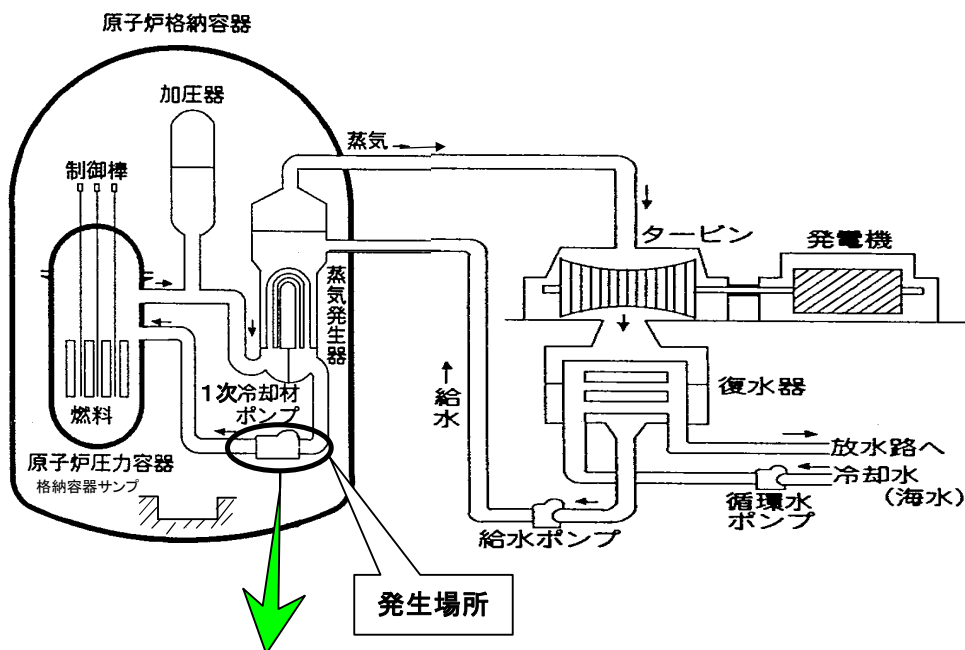
* 2 : シール部

1 次冷却材ポンプの主軸の隙間から 1 次冷却材が外部に漏れ出すのを防ぐため、高圧水(封水)を注入してしている部分。同ポンプでは第 1 ・ 第 2 ・ 第 3 の 3 段のシール部で構成されている。

問い合わせ先(担当：三木) 内線2354・直通0776(20)0314
--

美浜発電所1号機の原子炉手動停止について (A-1次冷却材ポンプ軸シール水漏えい)

発生場所



1次冷却材ポンプ概要図(イメージ)

